

3) 予測条件

ア 設備機器の騒音レベル

施設の稼働で騒音を発生させる主要な設備機器の音響パワーレベルは表 4.2-13 に示すとおりとした。また、各機器の各設備機器の周波数パターンは表 4.2-14 に示すとおりとした。

表 4.2-13 主要な設備機器の音響パワーレベル

系統	階数	番号	音源名称	騒音 パワーレベル [dB (A)]	設置 台数	場所
焼却 施設	1F	1	エアカーテン	84	2	プラットホーム
		2	可燃性粗大ごみ切断機	110	1	プラットホーム
		3	ストーカ駆動用加圧装置	88	2	油圧整備室
		4	ボイラ給水ポンプ	90	2	給排水設備室
		5	機器冷却水ポンプ	90	1	給排水設備室
		6	蒸気タービン	99	1	蒸気タービン発電機室
		7	蒸気タービン発電機	90	1	蒸気タービン発電機室
	2F	8	灰クレーン	94	1	灰搬出場
	3F	9	タービンバイパス装置	95	1	蒸気復水器ヤード
		10	押込送風機	90	2	炉室
		11	二次送風機	90	2	炉室
		12	誘引送風機	97	2	炉室
	4F	13	混練機	90	1	飛灰処理設備室
		14	ろ過式集じん器	93	2	炉室
		15	低圧蒸気復水器	100	2	蒸気復水器ヤード
		16	機器冷却塔	84	1	屋外
	5F	17	ごみクレーン	96	2	ごみホッパ
リサイ クル 施設	1F	18	低速回転式破砕機	103	1	破砕機室
		19	高速回転式破砕機	120	1	破砕機室
		20	油圧装置	107	1	油圧装置室
		21	せん断式破砕機	100	1	プラットホーム
		22	缶類プレス機	88	1	搬出場
	2F	23	排風機	92	1	機械選別室
	3F	24	粒度選別機	95	1	機械選別室

※メーカー資料を基に設定した。

表 4.2-14 各設備機器の周波数パターン

番号	音源名称	騒音レベル (周波数別) [dB (A)]								騒音 パワーレベル [dB (A)]
		63	125	250	500	1K	2K	4K	8K	
1	エアカーテン	47	57	62	72	79	80	76	70	84
2	可燃性粗大ごみ切断機	—	—	—	—	—	—	—	—	110
3	ストーカ駆動用加圧装置	68	60	61	85	71	81	74	73	88
4	ボイラ給水ポンプ	51	65	73	80	84	85	83	76	90
5	機器冷却水ポンプ	66	76	76	76	83	88	66	68	90
6	蒸気タービン	62	84	93	87	94	91	87	79	99
7	蒸気タービン発電機	70	74	76	79	85	87	75	75	90
8	灰クレーン	—	66	78	85	92	82	66	—	94
9	タービンバイパス装置	80	85	86	87	89	91	84	75	95
10	押込送風機	56	68	78	85	86	81	77	69	90
11	二次送風機	56	68	78	85	86	81	77	69	90
12	誘引送風機	74	84	90	92	89	90	85	77	97
13	混練機	66	74	76	80	86	86	80	64	90
14	ろ過式集じん器	50	50	57	76	87	89	86	86	93
15	低圧蒸気復水器	77	87	91	95	96	92	88	80	100
16	機器冷却塔	39	59	70	78	81	75	71	63	84
17	ごみクレーン	—	68	80	87	94	85	71	—	96
18	低速回転式破砕機	58	72	84	102	88	89	87	61	103
19	高速回転式破砕機	105	110	105	105	106	105	100	85	120
20	油圧装置	78	82	87	95	103	102	98	88	107
21	せん断式破砕機	83	86	93	91	94	95	90	80	100
22	缶類プレス機	63	71	82	84	84	83	81	72	88
23	排風機	69	79	86	87	85	79	72	62	92
24	粒度選別機	60	62	75	85	89	81	89	87	95

※メーカー資料を基に設定した。

イ 設備機器の配置

騒音を発生させる主要な設備機器の配置は図 4.2-6 に示すとおりとした。

なお、図中の番号は前出の表 4.2-13 及び表 4.2-14 に対応する。

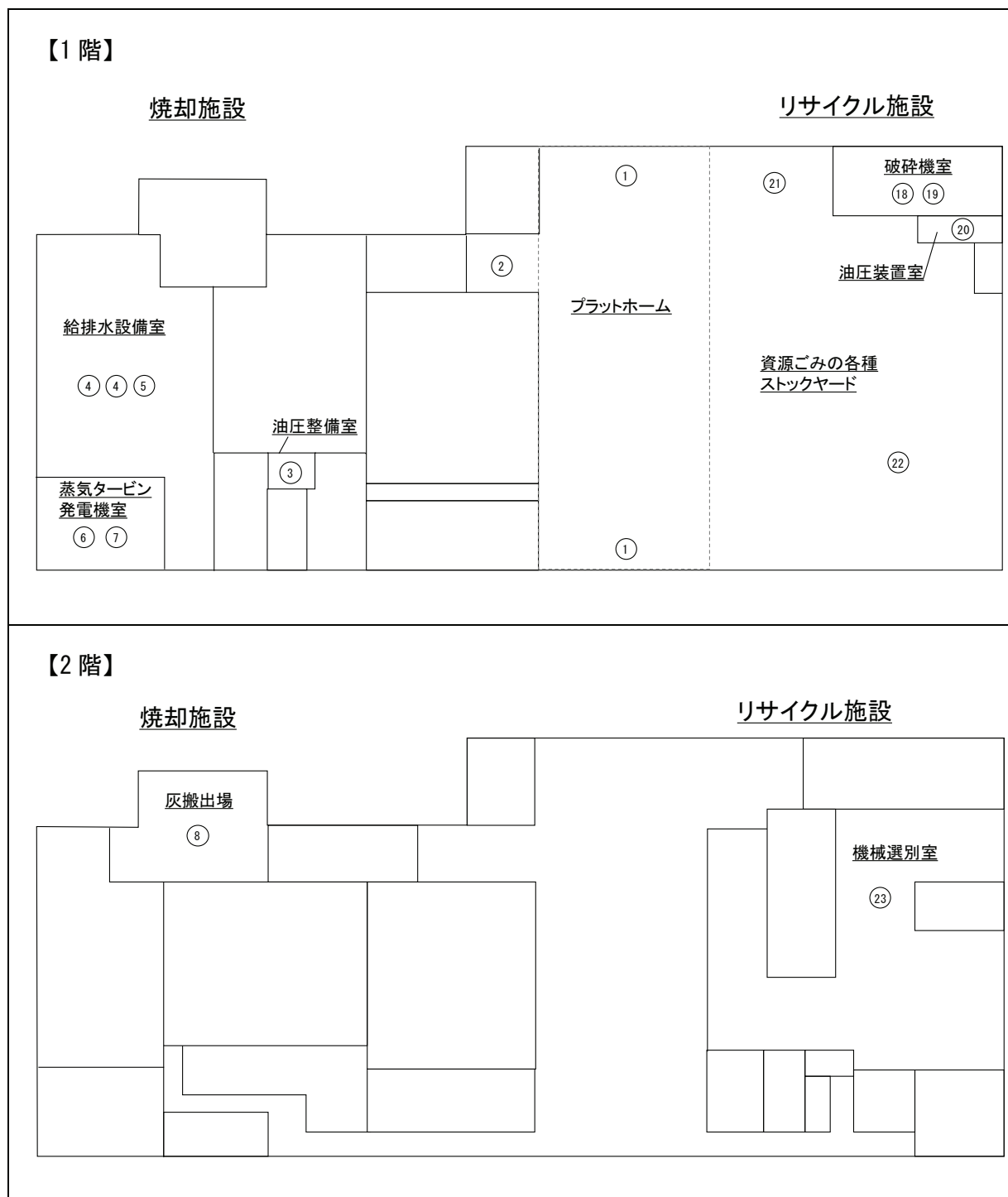


図 4.2-6 (1) 各設備の配置図

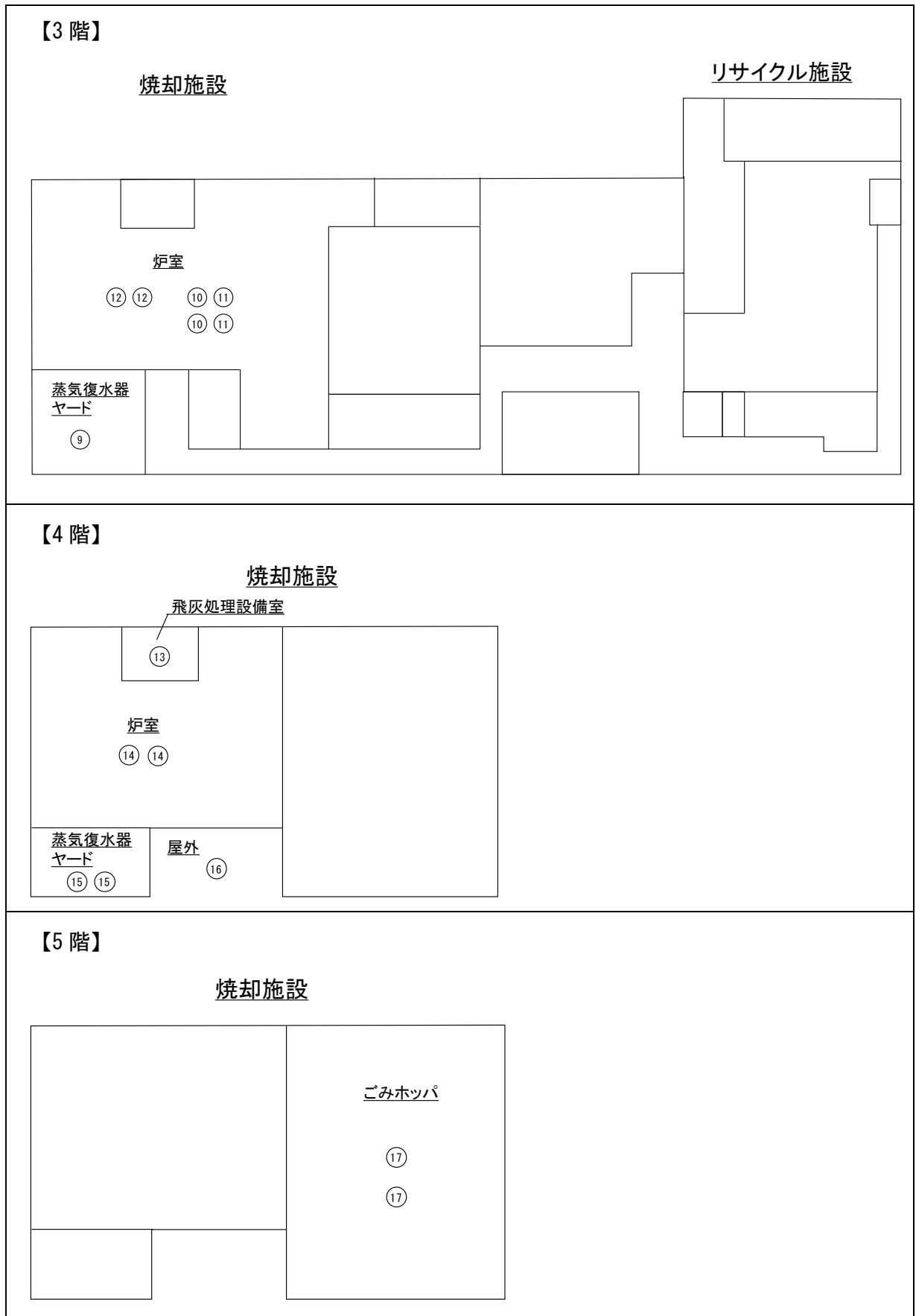


図 4.2-6 (2) 各設備の配置図

(5) 予測結果

敷地境界における騒音レベルの予測結果は、表 4.2-15 及び図 4.2-7 に示すとおりである。
騒音レベルは、敷地境界（南側）で最も高い値を示し 41.4dB となった。

表 4.2-15 施設の稼働に伴う騒音の予測結果

予測地点	施設からの 距離	予測結果 (L_{Aeq})
予測地点①（敷地境界：東側）	29.0m	37.2dB
予測地点②（敷地境界：南側）	14.5m	41.4dB
予測地点③（敷地境界：最寄住居側）	37.8m	28.4 dB

備考：1.予測結果は、地上1.2mにおける値である。

2.時間区分は、環境保全目標の時間区分に準拠した。